

SHORIN

商輪

NO.40

SAPPORO CHAMBER OF COMMERCE AND
INDUSTRY WOMEN'S SOCIETY

2020





目次

令和2年度を迎えるにあたって	1
札幌商工会議所女性会 会長 野村るり子	1
【特集】札幌商工会議所 第37期に向けて	
「札幌商工会議所会頭」・「札幌商工会議所女性会会長」対談	2
吉田義人氏 インタビュー	6
【特集】ラグビーワールドカップを通して見つめ直す北の大地の魅力	
二〇一九年度 定時総会・懇親会	8
第51回 全国商工会議所女性会連合会（鹿児島全国大会）	9
第33回 全道商工会議所女性会研修交流会（小樽）	11
令和2年 新年交礼会	12
中野信子氏 特別講演会	13
令和元年度 例会	14
7月例会	14
納涼例会	15
2月例会	16
令和元年度 会員親睦小旅行	17
会員寄稿	
1. 私の仕事人生	18
2. 経営者とリーダーシップ	23
令和元年度 新入会員セレモニー	25
組織図／業種別・在籍年数別人員構成	26
物故会員を偲ぶ・令和2年度役員体制	27
札幌商工会議所女性会 会員名簿	28
札幌商工会議所女性会スローガン	30
令和元年度 年間スケジュール	31
編集後記	32

令和2年度を 迎えるにあたって

札幌商工会議所女性会

会長 野村
るり子

風薫る5月、青葉若葉の輝きに満ちた季節になりました。

会員皆様におかれましては、日々お健やかに過ごしのことと存じます。また、日頃より当会の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

このたびは、会員皆様のご推挙を頂き、八木前会長の後任として会長職をお引き受けすることになりました。光栄に存じますと同時に、大変、身の引き締まる思いでございます。

八木前会長におかれましては、2期4年にわたり、当会の運営に多大なご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

会長職としての任期中は、当会の創立55周年記念式典・祝賀会をはじめ、様々な事業に鋭意取り組みで来られました。中でも、平成29年に開催した「第49回全国商工会議所女性会連合会北海道全国大会」は、全国各地より2,702名の女性会会員の皆様にお越し頂いたことは記憶に新しいところでございます。当日を迎えられるまでのご苦労と計り知れない重圧を乗り越え、見事、大会を成功に導いたお姿は、今でも鮮明に目に焼き付いております。

八木前会長をはじめ、諸先輩の皆様が築いて来られた当会の歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、副

会長、役員、会員皆様のお力添えを賜りながら会の発展に尽力して参る所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、新年度を迎えた本道経済は、世界中を脅かす「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により、事業やイベントが相次いで中止・延期となり、観光産業を中心に大打撃を受けております。更に外国人旅行者の減少に加え、国内における外出自粛が影響し、今後消費低迷が懸念されます。

今年度は、9月に森町での全道大会、10月には倉敷での全国総会が予定されている他、当女性会においても様々な事業を予定してお

り、一刻も早い終息を願うところでございますが、未だ先行きが見えない状況でございます。

このような時こそ、当女性会会員のみなならず、全道・全国の女性会の皆様と協調し、この国難を乗り越えて参りたいと存じております。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げますと共に、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。



チャレンジ!!
札幌

札幌商工会議所 第37期に向けて

「札幌商工会議所会頭」・「女性会会長」対談

※この対談は令和2年1月30日(木)に行われたものです



日にち

令和2年1月30日(木)

場所

北海道経済センター 3階 会頭室

出席者

札幌商工会議所 会頭	岩田 圭剛氏
札幌商工会議所女性会 会長	八木 千代子
札幌商工会議所女性会 広報部会 副部会長	八田 利枝子
	堀田 まり

①札幌商工会議所会頭として、最初の3年間で青年部を振り返って、いかがでしょうか？

岩田会頭…札幌商工会議所は、この3年間で青年部ができ、従来の

女性会に加え青年部が加わり、強い体制が整っていると思っております。特に女性会はともにお力をお持ちですのでいつも頼りにしております。

3年間で振り返って、最初の1

年間はベースをつかむのが大変でした。歴代の会頭はよくこんな仕事をしてくられたなあと驚くぐらいだったのですが、何とか過ごすことができました。

この3年間は比較的緩やかな成長を続けていって、経済的には安定した3年間だったと思っております。第36期は「パワーアップ！札幌」～札幌の元気で北海道経済を牽引する～というキャッチコピーで始めました。北海道の人口530万人のうちの200万人を占める札幌が元気になることで地方の元気に繋げていこうと、もちろん札幌だけが元気になるればいいわけではありませんが、北海道全体がよくなるためには、やはり札幌が元気にならないとだめだ、という思いでこのキャッチフレーズを作りました。

本当に色々な方にご協力を頂き、この3年間で札幌へのアクセス道路、北海道新幹線の札幌駅ホーム設置も目途がつかいましたし、札幌駅周辺の再開発も計画ができて、札幌の様々な開発の形が見えてきたと感じております。



札幌商工会議所 会頭 岩田 圭剛氏

② 2016年8月の豪雨災害や2018年の胆振東部地震など、北海道では自然災害が頻発しておりますが、この自然災害に対して、これから行っていくべきことや「命を守る、産業を守る」という点でのお考え等をお聞かせ下さい。

岩田会頭…2つの大きな使命があると思います。1つは世界的な環境保護に本気で取り組まなければ

ならない時代が来たという事。もう1つは札幌を災害に強い街にしなければならぬ、という事です。この問題は視点を子供たちに合わせるとうわり易いと思います。前者は、16歳のスウェーデンの少女の話にもありますが、世界中の気象と環境が著しく変化する中で、子供たちの未来を守らなければなりません。

当会議所では、昨年11月にスタートした第37期、SDGs（持続可能な開発目標）推進特別委員会を新設しました。私たち経済界の立場で出来る事と出来ない事を整理し、中小企業でも取り組める「身の文SDGs」を進める事が大事だと考えています。

また後者では、胆振東部地震で多くの気づきを得ることが出来ました。札商としては、会員企業のBCP策定（事業継続計画）を支援し、災害時でも動き続ける経済を守る事が、強い街づくりへの貢献につながると思います。

いかなる自然災害が来ようとも、札幌の都市機能が維持される流れを作る必要があります。この

点ではしなやかな感性を持つ女性の皆様から貴重なご意見が伺えるのではと期待しています。

③ 北海道は「観光」が大きな産業のひとつ。年々増加していく外国人観光客については経済効果もありますが、様々な問題も起きています。訪れる側も受け入れる側も快適であるために、お互いどのような歩み寄りが必要でしょうか？

岩田会頭…女性会の会長ならではの大変素晴らしいご質問ですね。普段私どもは観光客を増やす事しか頭が行かないものですから。最近、地元住民の方と滞在する外国人のトラブルが顕在化しつつあるようです。

異なる文化同志の接点では、互いが譲り合い、そして理解し合う事が最も肝要だと思います。

お互いの歩み寄りは、まずは受け入れる私達から。道案内など困っている外国人を助ける姿勢を全道民に広げていく必要があります。

一方、滞在型観光が広がる中、

外国人に対して「お客様は神様」という姿勢だけではいただけません。日本のシステムや文化を守って頂けないとお互いに長続きしないでしょう。この点では、入国前や滞在先で日本のルールを理解頂けるように、わかりやすいHPの整備やハンドブック配布のルール作りが急がれます。

④ 2020年夏季オリンピックの「マラソンと競歩」の札幌開催が決まりました。2030年の冬季オリンピック・パラリンピック招致にも弾みがつきます。国際的なビックイイベントによって、札幌（北海道）はどのように変わっていくでしょうか？

岩田会頭…昭和47年の札幌冬季オリンピックの興奮と感動を覚えていらっしゃる方は、既に50歳を超えられているんですね。あの時、街にはビルがたくさん出来て、地下街や地下鉄が整備され、札幌が未来に向かって大きく前進する高揚感がありました。

街中がオリンピックで溢れ、競

技を生で観戦したあの感動は、体験した私達にしかわからないでしょう。今度は、若い方、特に子供たちにスポーツの感動や世界との触れ合いを体験して欲しいと強く願っています。

今回も冬季オリパラの招致が成功すれば、様々なプロジェクトが大きく動き出します。北海道新幹線の早期札幌延伸、札幌駅と周辺道の再開発計画、また都心アクセス道路の実現など、新しい札幌のまちづくりに繋がって行きます。

まずは東京オリンピックのマラソン・競歩競技を成功させ、この美しい札幌を世界に見せてあげましょう。世界のあちこちに住む人に、「人生でいつかあの札幌に行ってみよう」と思ってもらえるよう、今年のマラソン・競歩開催の勢いのまま冬季オリパラ招致を決めたいところです。

当会議所では今期、2030年の冬季オリンピック・パラリンピック招致成功を最重要目標としました。

当会議所内部には様々な組織がありますが、女性会が、最も波及

力や影響力を持つ組織であると常々感じております。女性会の皆様には是非お力添えを頂き、多くの方の気持ちを動かしていければと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

⑤働き方改革の実現によって、企業と家庭（あるいは個人）の関係が本当の意味で良くなっていくには、どのようなことを心掛けていくことが大切でしょうか？



札幌商工会議所女性会 会長 八木 千代子

岩田会頭：働き方改革は今の経済界にとって大変重要な要素です。一方で、時間外勤務を無理やり制限する「ジタハラ」という言葉も生まれるほど、労働現場では混乱が起こっています。今は企業と働く側の双方が、働き方の適正な均衡点を模索している過渡期にあると感じています。

働く人、家庭、そして企業のいずれもがうまく行くには、生産性向上の推進がカギになるのではないのでしょうか。

まずは各企業に存在するムリやムダ、おかしな慣習を廃し、効率化を推進する事が大事です。「早く帰る事を美德とする」という企業文化の醸成も必要でしょう。IoT（モノのインターネット）の技術革新は目を見張るものがあります。AI（人工知能）導入や5G（超高速通信システム、現在は4G）の活用などを推進し、企業規模に関わらずに臆せず最新技術を導入できるように、札商として努力して参りたいと思います。

⑥今後、札幌（北海道）のより一層の活性化のためには、あらゆる世代、男女、全ての力が一つになることが重要かと思えます。岩田会頭がこれからの女性会に期待されることをお聞かせ下さい。

岩田会頭：先日、橋本聖子大臣と対談させて頂く機会がありました。スケート選手としての華々しいご活躍の陰で、実は高校生時代からたくさんの病気と闘っておられ、アスリート時代も深呼吸が出来ない状況だったそうです。

ハンデキャップを公表せず涼しい顔で世界と戦う事が出来る、そういう方が、女性活躍担当大臣であり東京オリパラ大臣であるという事は素晴らしい事です。

女性会の皆様には、これからも柔軟でかつ妥協せず、そして強さを持たれた組織であって欲しいと願っています。北海道は変革の時を迎えています。女性のネットワークやパワーはこれからの北海道に最も必要なものです。今後のますますのご活躍を期待しています。

⑦最後に、これからの3年間への抱負をお願いします。

岩田会頭：年号も「令和」に変わり、新しい時代に進んでいくという意味では、第37期の「チャレンジ!!札幌」というキャッチフレーズで、札幌がリーダーシップを發揮し、新しいことへチャレンジをしていきたいという思いがあります。産業の面では創業や起業の支援体制の充実化や、新たな産業の面も見出すことができればと考えております。観光の面では、この36期の3年間で伸びてきておりますので、このままプラスの方向に循環していければと思っております。

今期は、札幌・北海道にとって本当に重要な3年間になってくると考えています。7空港が一括民営化となり「千歳」だけではなく他の空港も活発になっていかなければならないですし、「地域の活性化」が、この7空港一括民営化の目的になっていますので、札幌に偏っているインバウンド需要を北海道全体で対応していかなければ

ばなりません。

さらに交通の関係でいえばJRもこの2年間で結果を残さなければならぬ状況ですので、そういった意味でもこの37期の3年間は非常に重要になってくると思っております。

さらには2030年の冬季オリパラをこの3年間のうちに決まるようにしていかなければなりません。そのためには札幌市、北海道と協力しながら機運醸成につなげていかなければならない、それが我々の役目だと思っております。

そのためには今夏のオリンピックマラソンがポイントになってくると考えております。何とか成功させるために我々も手伝っていければと考えております。

私たちが札幌商工会議所女性会も北海道、札幌のために微力でも何か貢献できればと思います。本日はお忙しい所、私どものために貴重なお時間を頂戴いたしました。心よりお礼申し上げます。

感性を生かし、なお一層の研鑽に努めていかなければならないと強く受け止めさせていただきます。今後も、会員一人一人が手を携えて、女性会としての力を發揮していただけるように邁進して参りたいと思います。

八木会長より、対談を終えて

本日、岩田会頭との対談を終えて、改めて親会が多くの改革や、新しい計画に取り組みされていることを学ばせて頂きました。経済環境が厳しさを増しているなかで、札幌商工会議所の一翼を担う組織として、女性ならではの発想と

感性を生かし、なお一層の研鑽に努めていかなければならないと強く受け止めさせていただきます。今後も、会員一人一人が手を携えて、女性会としての力を發揮していただけるように邁進して参りたいと思います。



ラグビーワールドカップを 通して見つめ直す 北の大地の魅力

元日本代表・『侍セブン』監督

吉田義人氏

— 吉田さんは北海道とはどんな

ご縁があるのですか？

吉田 私の母親が北海道の留萌出身、私は秋田生まれですが北海道が大好きで母親の兄も妹も皆小樽や函館などに住んでいて、小さい時はよく来ました。実は私、増毛出身の三國清三シェフと親せきなんです。

— 日本は野球やサッカーに比べるとラグビー人気が少ないですが、不毛地帯と言われる北海道にラグビーを根付かせて行きた



吉田義人氏 プロフィール

秋田工業高、明治大学主将として共に全国優勝。19歳で日本代表入り。世界選抜に日本人で唯一3度選抜、オールブラックス戦でのダイビングトライは世界ラグビー史上伝説となる。

筑波大学院にてスポーツ教育を学び修士号取得。31歳で渡仏、日本人初の1部リーグプロラグビー選手となる。現役引退後、横河電機ヘッドコーチとして全勝優勝。その後、明治大学ラグビー部監督就任、14年ぶりに対抗戦優勝を果たす。

現在、一般社団法人日本スポーツ教育アカデミー理事長、7人制ラグビー専門チーム『侍セブン』監督。

いですね。

吉田 まず、ラグビーを多くの方に知ってもらわないとなりません。実は、夏季オリンピック、サッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップが世界の三大会なのです。ワールドカップの開催でラグビーをよく知らなかった人が興味を持ち試合を見に来る、そしてその価値を目の当たりにしたわけですね。

ラグビーは人の成長に必要な事を教えてくれ、見に来た大人が子供にラグビーをさせたいと思いま

す。また、ラグビーを続けた先にプロとしての活躍等、大きな夢が掴めるという未来が必要です。

— ラグビーワールドカップ2019、日本代表の戦いをどの様に展望されていましたか？

吉田 私は神奈川県黒岩知事と林市長からの委任で、ラグビーワールドカップの特別サポーター、いわゆるアンバサダーをつとめています。日本チームは成長を続けていますし、開催国の利がありますから初のベスト8、更にその上を目指してと願っていました。ひたむきに戦う選手の姿に皆さんが感動することを確信していました、見事にベスト8進出を果たし、



本当に大きな感動を与えてくれました。

― 日本での開催はアジア初、札幌では2試合、札幌ドームという場所も注目の一つでした。ドームの効果、そして北海道、特に札幌における経済効果も大きかったですよね。

吉田 野球場でのラグビーのワールドカップの試合は史上初、ラグビー界や世界中のラグビーファンにとってあり得ない事です。ヨーロッパの人達から見たら、札幌ドームでどうやって野球場サッカー場が変換されるのか非常に面白い。視聴者は10億人以上と言われているからもともとと伝えていった方がいい。



大応援団は3日位前から現地に入り近郊の観光地を回ります。次の試合までは帰国せずに高級ホテルや高級旅館に泊まり美味しいレストランやお店に行くのを楽しみにしています。今回も、例えばビールは大通のビアガーデン全体の1日分を超える量が、札幌ドームでの1試合で飲まれました。様々な意味で世界に発信できたことは大きいですし、続けてほしいです。

― 恩師の北島忠治監督から頂いた、大切な言葉や教えなどをお聞かせ頂けますか？

吉田 僕の座右の銘でもある「本物であること」「本流を歩むこと」「本筋を貫くこと」です。北島監督の哲学「前へ」の意味は、品位や品格に関しての教えで、自分に勝った者だけが自信をもって前に進めるということ。監督と出会って人生においての大切なものを学ばせてもらいました。

― 吉田さんがラグビーを通して学んだ大切なこと、ラグビーに携わっている学生や子供たちに

伝えていきたいこともおありと思います。

吉田 ラグビーは素晴らしいリーダーシップをとれる人に成長させることができるスポーツとして発展してきました。名誉と誇りとプライド、国の威信をかけて、家族や仲間たちに感謝をして戦いに出ます。

ラグビーから養う人間形成として、ラグビーの精神、象徴す

る言葉は「One for all, All for one（一人は皆の為に、皆は一人の為に）」。これは日本から生まれた言葉です。ラグビー憲章の「品位 (INTEGRITY)」、情熱 (PASSION)、結束 (SOLIDARITY)、規律 (DISCIPLINE)、尊重 (RESPECT)」「この中で一番ラグビー選手に大事なものは「品位 (INTEGRITY)」だと言われています。

インタビューを終えて

『観光客に宝石のようなきらめきを放つ地元の魅力』を私達はそのことをどれだけ認識していたのでしょうか。今一度それぞれの足元、そしてこの北海道を見つめなおす必要があると思います。その素晴らしき魅力をどう発信して行くべきか、また、その為には何をすべきかを企業人として改めて考えさせら

れました。その魅力を発信するチャンス（世界中の注目を集めるイベント等）は、これから幾度となく訪れます。その機会をどの様に活かし、北の大地により多くの人をお迎えしていくか、私達の方が問われます。今一度考え、女性経営者の視点でおおいに挑戦して行きたいものです。

2019年度 定時総会・懇親会

2019年4月22日(月)

総務部会 副部会長 青野 真澄



2019年4月22日、札幌グランドホテルに於いて、女性会会員50名の出席のもと定時総会・懇親会が開催されました。

国歌、女性会の歌斉唱の後、物故会員への黙禱、スローガン提唱がありました。

八木会長のご挨拶に続き、審議事項、報告事項と滞りなく総会を終える事ができました。

続いて、会場のお部屋を移し懇親会が行われました。

開会にあたり会長のご挨拶を頂き、ご臨席いただいたご来賓のご紹介、ご挨拶と乾杯のご発声を頂き開会致しました。

続いて、女性会活動への出席率80%以上の方へ会員褒章の表彰があり、今回は12名の方が対象で皆様の積極的な会への参加に盛大な拍手が贈られました。

当日出席の新入会員の方々からの自己紹介では、皆様の頼もしい言葉は、今後の女性会での活躍を多いに期待できる立派なものでした。

美味しい食事と飲み物で宴が進む中、当日、青年部新会長の水戸

様がお誕生日とわかり、池上特別顧問からご紹介のお言葉と皆様からお祝いの歌のプレゼントというサプライズがありました。

また、余興では、縄文太鼓の茂呂剛伸様と門下生の皆様による魂に響く圧巻の演奏を堪能致しました。

和やかで楽しい会も時間となり、最後に泉副会長より閉会のご挨拶を頂き、2019年の懇親会も無事お開きとなりました。

ご出席いただきましたご来賓の皆様、会員の方々、事務局の皆様にご心より感謝を申し上げます。



第51回全国商工会議所 女性会連合会

鹿児島全国大会

令和元年9月5日(木)～6日(金)

総務部会 副部会長 渡辺 早久恵



『第51回全国商工会議所女性会連合会鹿児島全国大会』が令和元年9月5日～6日の日程で、全国から2,574名が集い、盛大に開催されました。札幌からは八木会長、高木顧問をはじめ14名、北海道からは総勢68名が参加しました。

9月5日午前8時に千歳空港に集合し、台風13号が九州に迫る中、私たちは羽田経由で鹿児島に降り立ちました。札幌を出たときの気温は21度、鹿児島の気温は32度。到着したときは、ものすごい雨でしたが、添乗員さんが「ご安心ください。僕は晴れ男!」と言った途端に晴れ間が見えてきました。宿泊ホテルの隣が有名な薩摩揚の老舗『徳永屋本店』。早速、お土産の発送をする会員もおりました。

5日、夕方6時からの懇親会は、離れた10会場をライブカメラで繋ぎ一体性を巧みに演出される中、札幌はメイン会場の最前列でした。お出迎えの鹿児島の会員の皆様はそれぞれの大島紬を見事に着こなし、いろいろな種類の大島

紬がある事も知りました。また、各テーブルには鹿児島の会員の方のおひとり座り、お心づくしのおもてなしをしてくださいました。

6日の朝9時半からは、薩摩琵琶の音色と、真紅の衣装で舞うフラメンコのコラボで全国大会の幕が開き、昨年放送の「西郷どん」の劇中歌を歌った奄美大島出身のシマ唄シンガーの城南海(きずきみなみ)さんによる「君が代」の独唱。本当に澄んだ声で今までに聞いたことのない「君が代」でした。会長、来賓挨拶、各表彰の後





は「西郷どん」の作者「林 真理子」氏の記念講演。歯切れのいい話を楽しみました。

無事に大会を終えて、昼食会場「熊襲亭」で正調さつま料理を楽しみ、一路今夜の宿泊地「指宿温泉」に向かいました。宿に到着後は送迎バスを利用して「砂むし温泉」を体験。砂が意外と重たく身体にずっしりきました。夕食には日本一になった鹿児島黒牛のステーキを、陶板で自分のお好みに焼きながら食べる醍醐味を味わいまし



た。甘くトロっとした美味しいお肉でした。さすが「日本一！」若女将もしゃきしゃきした女性で楽しませていただきました。また、ホテルのフロント横には「なりきり西郷」なるコーナーがあり、皆で太眉毛をつけて衣装を着こみ記念撮影を楽しみました。

最終日7日は、鹿児島島に戻り、島津家19代当主の光久によって築かれた薩摩藩主島津家の別邸「仙巖園」で豪華な大名庭園を散策しました。空は快晴で気温はぐんぐん上がり、島津家28代当主の斉彬



が過ごした御殿を見学し、江戸時代にタイムスリップ。ここで庭と桜島を眺めたであろう座敷に座り、いにしえの日々に思いをはせました。売店では、品物ではなく値段に見入ってしまいました。「380万円」の壺、「72万円」のお皿。小さいぐい飲みが「7万円」、薩摩切子です。涼しいレストランで昼食をいただきやっと生き返り、鹿児島空港へ。楽しかった3日間はあっという間でした。

ご参加の皆様、ありがとうございました。



第33回 全道商工会議所女性会研修交流会

令和元年9月20日(金)

総務部会 柏原 克子



令和元年9月20日(金)グランドパーク小樽に於いて、全道女性会研修交流会が道央ブロック小樽商工会議所女性会が担当し、全道から188名の参加のもと開催されました。

八木千代子全道女性会連合会会長のご挨拶を頂き、商工会議所女性会活動指針を提唱し、道南ブロック小牧商工会議所女性会と道央ブロック石狩商工会議所女性会の積極的な取組事例を映像を通してお聞きすることもできました。

引き続き記念講演会では、石川県出身の小樽商科大学研究員として着任され、観光発展のため歴史文化・おもてなし等の幅広い知識を身に付け、小樽案内人最高位「マイスター」である高野宏康氏の、小樽が世界遺産を目指し動きはじめ、国内外に魅力を発信し、地域創生につなげたいとの思い。北前船は各地の流通・人の移動・文化の伝搬に大きな役割を果たしたと歴史的意義を指摘され、道内の江差・松前・根室・択捉島やオホーツク沿岸など全道各地を海のネットワークで結び、各地に計り知

れない恩恵を与えられたことなど。また、小樽市は産業港湾部に日本遺産担当を設置し国指定重要文化財の補修等、いかに独自性あるストーリーを描き、小樽は文化遺産が豊かな街であることを強調されていました。

懇親会では、小笠原眞結美実行委員長、ご来賓の迫俊哉小樽市長、西條文雪小樽商工会議所副会長のご挨拶を頂きました。アトラクションでは、潮風香る小樽生まれのゴスペルクワイヤ「浅原富貴子with Sea of Grace」の澄み切った歌声で会場をわかせ、セレモニーに華が添えられ、身体が浮立つ思いでした。

このコンサートを通じて各地会員同士の振興がより深まったように思います。

次回開催地の森商工会議所女性会からは、多くの皆様の参加を頂きたい旨のご案内がありました。

ご参加くださいました会員・事務局の皆さま、ありがとうございました。

令和2年 新年交礼会

令和2年1月28日(火)

組織厚生部会 老川 久美子



例年になく雪が少なく、足元が軽やかな中、令和2年1月28日札幌グランドホテルに於いて札幌商工会議所女性会の新年交礼会が開催されました。昨年ご縁があり、会に加えていただいていたから参加した催しは、いつも楽しく女性会のあたたかい輪を感じておりました。

開会での女性会スローガンの提唱を、どこか気を引き締めながら唱えた後、新年にふさわしい増田瑋蘭様の祝吟「宝船」を拝聴し、さらに心豊かになった気分でした。

八木千代子会長のご挨拶では、昨年のスポーツ界での感動的な出来事、特に「ワンチーム」のスローガンで戦ったラグビー日本チームの活躍に触れました。

続いてご来賓のご祝辞では、土屋副知事から、「世界一幸せな国フィンランドは、女性首相のもと大半が女性大臣で女性が原動力になっている国。鈴木知事の言われる『ピンチをチャンスに』を活かすには女性の元気が必要」との力強いメッセージを頂きました。

そして秋元札幌市長より「新型コロナウイルスによる経済への影響と、蔓

延・拡大させないことの重要性」のお話を伺いました。

岩田会頭による乾杯のご発声で始まった会食は、円卓を囲んだ方々との楽しい会話と笑い声があちこちで賑やかでした。また諸先輩の皆様からのやさしいお声掛けをいただき、嬉しくとても居心地の良い時間を過ごすことが出来ました。歓談の中、ヴァイオリニストの斉藤航氏による演奏。各テーブルを軽やかに回りながら、耳元で奏でられる迫力に感動ひとしおでした。

楽しい時間が過ぎる中、野村理事副会長の謝辞をもって大盛会のもとおひらきとなりました。



中野信子氏 特別講演会

令和元年10月30日(水)

研修事業部会 部会長

犬嶋 ユカリ



令和元年10月30日(水)札幌パークホテルに於きまして、中野信子氏をお迎えし「成功する人の習慣」チャンネルをつかむ方法」と題しまして特別講演会を開催いたしました。

札幌女性会では、年に1度、地

域に貢献することを目的に、著名な方をお招きし、特別講演会を実施しております。

中野様は皆様ご存じの通り、東京大学工学部応用化学科(卒業後、同大学大学院医学専攻博士課程を修了され、その後フランス国立研究所ニューロスピんに勤務。帰国後は研究・執筆を中心に活動され、またコメンテーターとして「ワイド！スクランブル」や「ホンマでっか!?TV」等数々のメディアで活躍されています。著書も「成功する人の妄想の技術」「あの人の心を見抜く脳科学の言葉」など多数の著書が出版されています。

10月末の何かとお忙しい中、700名ほどの皆様に会場にお出でいただきました。

中野様のご研究や広く海外での研究事例から、運の良い人は廻りの人たちと繋がることのできる人で、廻りの事に気がつく人！ということから始まり、チャンスは平等だが、運をつかむことができるかどうかは、みつめる能力であったり、時流をとらえることができる人であったり、上手に主張でき

たり…というお話がとても記憶に残りました。

また、日本社会の特徴として伝統を重んじますが、新「奇」探索性の低い日本人、それは高いと困る事情が日本人にはあり、世界の陸地面積の1%にも及ばないにもかかわらず、地震被害は10%にも及び、災害という括りでいえば世界の災害の20%を日本が占めていることもあり、こういった状況の中では楽観的な人間は生きていくことが出来ず、過去二千年を超える日本の災害の歴史と共に日本人は「慎重」な性格へと変化したこと、また世界の歴史的な構造・政治体制・社会構造など幅広くご講演いただきました。

終了後、来場者の皆様の笑顔に中野様に感謝の気持ちでいっぱいとなりました。

八木会長はじめ各部会の皆様、女性会すべての皆様のお蔭をもちまして、特別講演会を盛会に終了することが出来ました。

研修事業部会会員一同、皆様へ心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

日 程／令和元年7月22日(月)

場 所／北海道経済センター

テーマ／消費税軽減税率制度の導入と確認

講 師／小山僚子税理士事務所代表 小山僚子氏

参加者／25名

7月例会

研修事業部会

佐藤 千和子

この商輪が発行される頃にはすでに消費税は10%になっているのでしょうね。消費税アップを10月に控え、小山先生による『消費税軽減税率制度の導入と確認』と題して、7月例会が開催されました。それは「なつぞら」ならぬ「あきぞら」と題したスクリーンとコップで始めました。軽減税率はとて入り組んでいて、理解し難いものです。同じ商品でもお持ち帰りの物と、その場で食べる物



の扱いは違います。最低限、生活に必要なお水は飲用以外にも使われるので税率は10%です。例を挙げればきりが無いほどです。あの時は…、この時は…となります。ただ、軽減税率が適用されるのは飲食料品（酒・外食以外）と新聞（定期購読）のみとのこと。とは言え、全ての事業者に関係あるのが軽減税率。経費を計上する際に8%か10%の仕訳が必要になってきます。クイズを交えなが



ら分かりやすく説明して頂きました。

2023年導入予定のインボイスという制度についても説明がありました。

業種によって、税金への対応は違う様ですが、納税は国民の義務です。

教育・医療・インフラ整備等に使われる貴重な財源です。大切に有意義に使って頂きたいものです。



日 程／令和元年8月5日(月)

場 所／札幌第一ホテル

内 容／親睦・交流、二胡演奏

参加者／38名

納涼例会

研修事業部会 副部会長

加藤 佳良子



本年度は例年になく暑い日が続いておりました。そんな中、令和元年8月5日(月)曜日、この日も日中は30℃を超え毎年恒例の「納涼例会」に相応しい日となりました。本年度も昨年に続き札幌第一ホテルでの開催となりました。当日は38名の会員の皆様にご参加いただき、会場は華やかな雰囲気になりました。本年は会場に大きな本物の笹飾りをご用意し、皆様の願いを色とりどりの短冊にしたためて頂き、笹に願いを込めて飾っていただきました。

八木会長のご挨拶を頂き乾杯で始まった納涼例会では、各テーブルに飾った金魚鉢と夏に相応しいお料理で舌鼓を打って頂きました。その後、余興といたしまして本日のお客様である二胡奏者の福本ゆめさんがステージに登場。独特の世界観をお持ちの福本さんが奏する二胡の調べに耳を傾け蘇州夜曲、荒城の月、故郷など美しいビブラートの音が心に沁みる演奏は時が経つのを忘れるほどでした。

演奏の余韻に浸りながら和やかな雰囲気のまま尽きること無いお話で各テーブルが笑顔でいっぱいとなり、各テーブルで記念撮影をしたりと会員相互の絆が深まったように感じました。

楽しい宴はあつと言う間に過ぎ、お料理の最後は女性ならではのデザートビュッフェを楽しみ、閉会へ。

きくち副会長のウイットに富んだご挨拶でお開きとなりました。皆様からの楽しかった！のお言

葉を頂戴しながら研修事業部会一同でお見送りをさせていただきましたが、自然と笑顔の出る素敵な会となり、皆様のご参加に深く感謝申し上げます。尚、翌日皆様が願いを込めた短冊は北海道神宮に全員分奉納させていただきます。

七夕の夜空の星が皆様の願いを叶えてくれることと思います。



日 程／令和2年2月19日(水)

場 所／北海道経済センター

テーマ／「SDGs」～持続可能な開発目標について

講 師／(株)テック・サプライ 代表取締役 幡 優子氏

参加者／27名

2月例会

研修事業部会 副部会長

藤村 久美子

研修事業部会・犬嶋部会長より講演のテーマについて紹介されました。SDGsとは、何なんだろう、皆さんは、ご存知かもしれません、私にとっては初めて聞く言葉でした。講師より、SDGsについての説明がはじまり、国連加盟193カ国が2016～2030年の15年間で達成する行動計画です。2030年に向けた17の大きな目標と、それらを達成するた



め、SDGsの3つの特徴 ①誰も置き去りにしない ②バックキヤスティングによる目標設定 ③世界は、繋がっている私達が起点、資料の中でのSDGsの17のゴールにはとても難しい言葉が多く、真剣にスライド・資料を見ながら、首をかしげながら、なるほどと感心する事ばかり。一枚の古いTシャツが新しいTシャツになり、子供達の未来のため古着が資源に変わり、石油に頼らず、再利



用が出来るという講師の言葉にとっても心ひかれました。講演後、私は認証マーク（海・山で取れる）をスーパードなどで発見。この講演がなかったらきっと知らずに過ごしていたかもしれません。講演をしていただいた幡さん、ありがとうございました。

令和元年度

会員親睦小旅行

令和元年6月18日(火)

組織厚生部会 部会長

木下 直美



令和元年6月18日(火)事務局の方の参加も含め、31名の参加者と共にバスは栗山の小林酒造へと出発致しました。バスを走らせ1時間弱の道のりを走り、小林酒造の「北の錦記念館」へは、道のりがスムーズであり予定よりも早く到着致しました。

明治11年創業の老舗酒造であり、日本酒「北の錦」で知られており、「北の地で錦を飾る」という初代「小林米三郎」の意気込みからつけられた銘酒が有名です。製造所でもある、蔵を説明していただきながら、途中日本酒の試飲も交えて見学をさせていただきました。ひんやりとした広い蔵の中での見学は、美味しい日本酒の試飲のお陰でしょうか、華やかな笑い声が響き楽しい親睦小旅行のスタートが切れました。80分程の見学を終えて、バスは昼食会場へと進み、長沼のファームレストラン・ハーベストへ到着致しました。ここでは、地元で採れた野菜を中心としたランチをいただきました。また、ここでも楽しい笑い声が響き、新しく入会された方々

にも笑顔が見えて、親睦を深められた様子が感じられました。また、昼食時には気温も上がりお天気も良く青空が広がっており、次の目的地である、ゆにガーデンへの楽しい期待も高まりました。ゆにガーデンでは、沢山の野菜やくだもの、お土産などが販売しており、会員のみならず、両手に買い物袋や段ボールを抱えて笑顔でバスに乗り込む姿を目に致しました。次は最後の視察場所、江別にあります葛屋書店へ出発致しました。



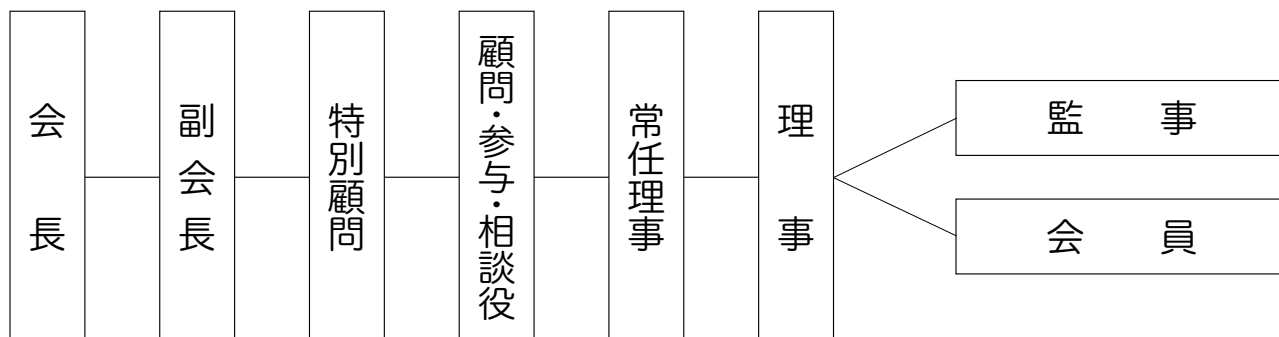
こちらの葛屋書店は、食・知・暮らし・ライフスタイルを提案すると言ったコンセプトがあり、その中でも笑顔が見えて、親睦を深められた様子が感じられました。また、昼食時には気温も上がりお天気も良く青空が広がっており、次の目的地である、ゆにガーデンへの楽しい期待も高まりました。ゆにガーデンでは、沢山の野菜やくだもの、お土産などが販売しており、会員のみならず、両手に買い物袋や段ボールを抱えて笑顔でバスに乗り込む姿を目に致しました。次は最後の視察場所、江別にあります葛屋書店へ出発致しました。

外も陽が落ちて、時計は5時を回り帰宅時間となりました。楽しい会話を笑い声とともに札幌へバスを走らせ、気が付くとネオンが輝く市内中心部へと入って行きました。何事も無く無事に北海道経済センターへ到着致しました。小旅行ではありましたが、5か所の施設見学と大変充実し親交も深められた楽しい旅行となりました。ご参加下さりました会員の皆さま、事務局の大畠課長、小川さんにも大変お世話になり有難うございました。心より感謝申し上げます。

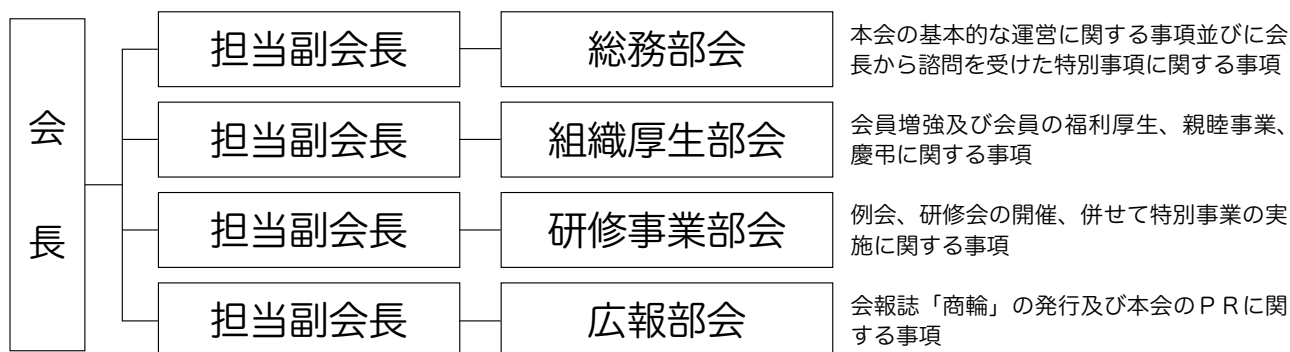


札幌商工会議所女性会 組織図

【役員構成】



【部会構成】



札幌商工会議所女性会

(R2.3.31現在)

【業種別人員構成】

(日本標準産業分類 平成25年10月改定より)

1. 建設業	8名	8. 学術研究・専門技術サービス業	8名
2. 製造業	5名	9. 宿泊業・飲食サービス業	3名
3. 情報通信業	2名	10. 生活関連サービス業・娯楽業	2名
4. 運輸業	1名	11. 教育・学習支援業	5名
5. 卸売業・小売業	18名	12. 医療・福祉	4名
6. 金融業・保険業	1名	13. サービス業	9名
7. 不動産業・物品賃貸業	7名		総員73名

【在籍年数別人員構成】

在籍40年以上	5名	在籍10年以上20年未満	19名
30年以上40年未満	10名	10年未満	33名
20年以上30年未満	6名		総員73名

物故会員を偲ぶ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



須貝 淑子さん

日本舞踊正派五條会
令和元年7月14日没
(享年99歳)
入会年 昭和47年

昭和四十七年入会後、平成四年より相談役に就任、その後、平成二十八年より名誉会員として多大な貢献をされました。
生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐藤カヨ子さん

(有)丸三佐藤質店
令和2年2月25日没
(享年89歳)
入会年 昭和62年

昭和六十二年入会後、平成十八年より相談役に就任、その後、平成二十四年より名誉会員として多大な貢献をされました。
生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

札幌商工会議所女性会 役員体制

【令和2年度役員体制】

会 長	野村 るり子		
副 会 長	きくち 美由紀	小 西 利 枝	
	太 田 陽 子	犬 嶋 ユカリ	
特 別 顧 問	高 木 雅 子	池 上 喜 重 子	八 木 千 代 子
参 与	松 村 智 恵 子	嶋 津 紀 子	佐 藤 和 子
	野 田 節 子	中 村 法 子	
相 談 役	米 澤 美 子	清 水 武 子	吉 中 朋 子
常 任 理 事	越 智 けい子	泉 みち子	
理 事	木 下 直 美	原 田 順 子	柏 原 克 子
	藤 村 久 美 子	塚 原 孝 子	八 田 利 枝 子
	青 野 真 澄	佐 野 志 賀 子	渡 辺 早 久 恵
	酒 勾 桂 子	加 藤 佳 良 子	
監 事	堀 田 まり	関 山 亜 紗 子	
名 誉 会 員	佐 野 セ ッ	内 山 栄 子	野 田 愛 子

(役員20名、特別顧問・参与・相談役11名、名誉会員3名)

札幌商工会議所女性会 スローガン

わたくしたちは

女性ならではの優雅さと

やさしさと

知性をささえに

政治・経済知識の習得と

女性経営者としての資質向上をめざし

また

国際人としての素養を身につけ

視野をひろげていくために

心と手を結びあって歩んでまいります

「商輪」(SHORIN)とは

「商いの輪」の事です。

私どもの広報活動が皆さんの商いの

潤滑油になっていただければと、

ここに商工会議所女性会の

スローガンを記載致しました。

皆さまの商いに素敵な「輪」が

広がりますようお願いを込めて…。

令和元年度 年間スケジュール

4月	<p>2019年度 定時総会・懇親会</p> <p>日 時…平成31年 4月22日(月) 定時総会／17時～18時 懇 親 会／18時15分～19時45分</p> <p>場 所…札幌グランドホテル 参加者…51名</p>	9月	<p>第33回全道商工会議所女性会 研修交流会（小樽）</p> <p>日 程…令和元年 9月20日(金) 場 所…グランドパーク小樽 講 演…テーマ 「歴史文化を活かしたまちづくり」</p> <p>講 師…国立大学法人小樽商科大学 グローバル戦略推進センター 学術研究員 高野 宏康氏 参加者…26名</p>
6月	<p>会員親睦小旅行</p> <p>日 時…令和元年 6月18日(火) 8時30分～18時 視察先…小林酒造・北の錦記念館、ゆにガーデン他 参加者…29名</p>	10月	<p>特別講演会</p> <p>日 時…令和元年10月30日(水) 13時30分～15時 場 所…札幌パークホテル テーマ…「成功する人の習慣 ～チャンスをつかむ方法～」</p> <p>講 師…脳科学者 中野 信子氏 来場者…697名</p>
7月	<p>7月例会</p> <p>日 時…令和元年 7月22日(月) 13時30分～14時40分 場 所…北海道経済センター テーマ…「消費税軽減税率制度の導入と確認」 講 師…小山僚子税理士事務所 代表 小山 僚子氏 参加者…25名</p>	12月	<p>新入会員セレモニー</p> <p>日 時…令和元年12月24日(火) 11時30分～13時 場 所…北海道経済センター 参加者…11名</p>
8月	<p>納涼例会</p> <p>日 時…令和元年 8月 5日(月) 18時～20時 場 所…札幌第一ホテル 内 容…親睦・交流、二胡演奏（福本 ゆめ氏） 参加者…38名</p>	1月	<p>令和2年 新年交礼会</p> <p>日 時…令和2年 1月28日(火) 17時～19時 場 所…札幌グランドホテル 参加者…47名</p>
9月	<p>第51回全国商工会議所女性会連合会 鹿児島全国大会</p> <p>日 程…令和元年 9月 5日(木)～7日(土) 場 所…鹿児島アリーナ他 表 彰…女性起業家大賞、全国商工会議所女性 会連合会表彰 講 演…テーマ「私の仕事から」 講 師…作家 林 真理子氏 参加者…12名</p>	2月	<p>2月例会</p> <p>日 時…令和2年 2月19日(水) 14時～15時 場 所…北海道経済センター テーマ…「SDGs～持続可能な開発目標について～」 講 師…(株)テックサプライ 代表取締役 幡 優子氏 参加者…27名</p>

編集後記



「商輪」の発刊にあたり、八木会長をはじめ会員の皆様のご理解ご支援に、心からお礼を申し上げます。

広報部会にとりまして、この2年間の取り組みは沢山の事を学び経験をさせて頂いた貴重な時間でもありました。

「北海道命名百五十年」・悲しみ癒えぬ「大震災」・興奮と感動に満ちた「ラグビーワールドカップ」・新元号「令和」、パンデミック現象を引き起こした「新型コロナウイルス」まさに多くの事が心に刻み込まれた2年間でした。

こうした中、メンバーは幾度も話し合いを重ね協力し合い共に歩みを進め、無事「商輪39号」「商輪40号」を発刊することができました。

広報部会の取り組みを陰ながら支えて下さいました事務局の皆様、本当にありがとうございます。

この2年間、ご協力下さいました全ての皆様に感謝申し上げます。

2020年3月 広報部会員一同



広報部会

担当相談役 清水 武子
担当部会長 塚原 孝子
担当副部会長 八田利枝子

堀田 まり

部 会 員 増田 節子

岡部 文子

寺島 久美

山木さとみ

平山 陽子

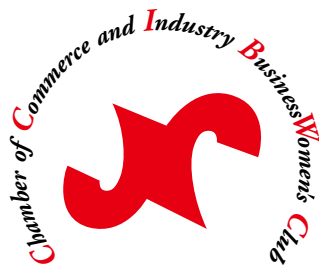
川端 法子

油矢紗也香

澤谷奈津子

浅井 理江

※尚、校正面におきまして不手際がございましたら何卒ご容赦下さいませようお願いします。



商工会議所女性会

札幌商工会議所女性会「商 輪」第40号

発行：札幌商工会議所女性会 〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL：011-231-1374

発行日／令和2年5月15日 印刷／株式会社 正文舎 発行責任者／野村るり子